

URL フィルタリングソフト



Technical Guide

テクニカル&トラブルシュートガイド 認証除外について 目次

1. はじめに	4
	4
<u>2-1. UA、ホストをアクセスログから確認する方法</u>	4
事前設定	4
アクセスの実施	6
<u>2-2. UA、ホストをパケットキャプチャから確認する方法</u>	7
<u>2-3. notice.log から確認する方法</u>	8
3. 回避策	9
<u>3-1. 認証除外の設定</u>	9
UA による認証除外設定	9
ホストによる認証除外設定	10
<u>3-2. 認証除外の設定反映</u>	11
設定読み込みコマンドの実行	11
ISWF のフィルタリングサービス再起動	11
4. その他の回避策	13
Internet Explorer のプロキシ例外設定による回避	13
フィルタリングバイパス設定による回避	14
5. 確認済み UA 及びホスト	15
UA一覧	15
ホスト名一覧	19

変更履歴

変更日	ページ番号	変更内容
2012/11/14	P.1	サブタイトルを変更
	全体	Ver8.0 の情報を追加
	P.16	ホスト名一覧 No.1 を追加
2013/03/15	P.12	UA 一覧 No.14 に「Microsoft Office」を追加
	P.16	ホスト名一覧 No.1 に「download.windowsupdate.com」を追加
	P.16	ホスト名一覧 No.3 を追加
2013/10/24	P.9	「ホストによる認証除外設定」に Ver8.5 での動作を記載
	P.16	ホスト名一覧 No.10 を追加
2015/05/01	P.8	「2-3.notice.log から確認する方法」を追加
	P.10	Ver8.5 SP1 以降、管理画面から認証除外設定を行う方法を追加
	P.11	「ホストによる認証除外設定」に Ver8.0 での動作を記載
	P.14	「フィルタリングバイパス設定による回避」を追加
2015/12/02	P.19	ホスト名一覧 No.1 に Windows10 での WindowsUpdate で利用されるホスト名を追加

1.はじめに

InterSafe WebFilter(以下 ISWF)で、LDAP 連携によるアカウント認証や NTLM 認証を行っている場合、クライアント PC 側で動作 するアプリケーションや Windows Update などが、ISWF のアカウント認証に対応していないことが原因でリクエストに失敗し、 そのアプリケーション等に不具合が生じる場合がございます。本資料で紹介する、「ユーザエージェントによる認証除外設定」 (Ver5.0 以降)、あるいは、「ホストによる認証除外設定」(Ver6.5 以降)のいずれかの設定で認証除外を行うことで、不具合を 解消できる場合がございます。

2.UA、ホストの確認

本項では、ユーザエージェント(UA)、ホストの確認方法について説明します。

2-1.UA、ホストをアクセスログから確認する方法

事前設定

UA を確認するには、ログの出力項目として、「ブラウザバージョン」を追加します。(ブラウザバージョンは UA を指します。) また、アクセスログで確認するには、認証に失敗しているリクエストを成功させる必要があるため、IP アドレスを登録し、IP ア ドレス認証にて成功した際のアクセスログを出力させます。

1) ISWF 管理画面にログインし、ログ設定画面を表示します。

●Ver8.0 以降の場合 [ログ管理] > [ログ設定]

●Ver7.0以前の場合 [システム管理] > [ログ設定]

- 2)「出力項目」の「ブラウザバージョン」にチェックが入っていることを確認します。(インストール直後は、「ブラウザバージョン」にチェックは入っていません。)「出力形式」を「全てのファイルを出力する」に変更します。
- 「出力形式」を「TEXT のみ出力する」にしていると、アクセスログが出力されず UA が確認できない場合があるため、「全てのファイルを出力する」に変更する必要があります。

凶 Z-I vera	<u>8.0 の場合</u>			
ホーム グル	ノープ/ユーザ管理 ▼	共通アクセス管理 ▼	個別アクセス管理 × 規制解除申請管理 × サーバ管理 × 設定情報管理 × ログ管理 ×	
ログ設定	₽ <u>0</u>			
▶ 共通設	> アクセスロ	リグ出力設定		
		出力単位	システム一括	
		出力形式	全てのファイルを出力する 💙	
с. - П		出力項目	 ✓ グルーブ名 ジ アカウント名 ジ ブラウザバージョン □ WWWサーバIP ジ 送信データサイズ ジ ファイルタイプ ジ コンテンツタイプ □ HTTPパージョン ジ リクエストメソッド □ リンク元サイト 	✓ 応答コード ● 登録カテゴリ
* 共通設定の変			※以下の項目は常に出力されます。 リクエストロ時、プロトコル、クライアント、転送状態、WWWサーバ名、転送時間、判定理由、判定カテゴリ、リクエストURL	
▶ アクセスロ	ログ出力設定			
	出力単位	システム一括		
	出力形式	全てのファイルを出力	ta v	
	出力項目	 ✓ グループ名 ✓ 送信データサイズ ✓ HTTPパージョン 	 ビ アカウント名 ジ ブラウザパージョン WWWサーパIP ジ 広谷コード ジ 受信データサイズ ジ フィイルタイブ ジ コンテンツタイブ ● 登録カテゴリ ジ リクエストメソッド □ リンク元サイト 	
		以下の項目は第にロガビイ リクエスト日時、プロトコル、	マネッ。 クライアント、転送状態、WWWサーバ名、転送時間、判定理由、判定カテゴリ、リクエストURL	
	出力条件	 Proxied:転送されポ Confirm:規制され。 Blocked:規制され。 Allowed:ルールで Release:一時解除 CfmPost:書き込み BlkPost:書き込み 	 ヒリクエスト たリクエスト(一時解除可能) たリクエスト 許可されたリクエスト で転送されたリクエスト 規制された・リクエスト(一時解除可能) 規制された・リクエスト 	

図 2-2 Ver7.0 以前の場合

システム管理 グループ/ユーザ管理	フィルタリング設定 アクセス管理			
サーバ設定 ダウンロード設定 画面設定	ログ設定 保存/復旧設定 メール通知設定 認証設3	定 フィルタリングルール共通設定		
ログ設定			<u>ヘルプ</u> (更新)	
# 'X en. cb			ロダの共体部ウナないます	
■アクセスログ出:	設定			アクセスログの出力設定を行います。
	出力単位: システム一括	~		
	出力形式: 全てのファイルをお	出力する 🕶		
*	出力項目: ビグループ名 ▽ ビ応答コード ▽]アカウント名 アカウント名 マブラウザバージョン 転送データサイス マンティルタイン	□ wwwサーバIP □ HTTPバージョン □ リ	リクエストメソッド
管理サービスの再起動が必要になりま	•			
■アクセスログ出力設定		アクセス	スログの出力設定を行います。	
出力単位:	システムー括 🔽			
出力形式:	全てのファイルを出力する 🔽			
出力項目:	☑グループ名 ☑アカウント名 ☑ブラウザバージ ☑応答⊐ード ☑ 転送データサイズ ☑ファイルタ	ション □WWWサーバIP イプ □HTTPバージョン □リクエストメソッド		
出力条件:	 ✓ Proxied:転送したデータ ✓ Blocked:規制したデータ ✓ Allowed:カテゴリ別ルールで許可されたデータ ✓ Allowed:カテゴリ別ルールで許可されたデータ ✓ Release:オーバーライド後期によって転送した² ✓ BikPost:書き込み規制によって規制されたデー 	\$ 7—\$ -\$		

4) 画面右上の[保存] (Ver7.0 以前は[更新]) ボタンをクリックし設定を保存します。

- 5) IP アドレス認証を設定します。
 - ●Ver8.0 以降の場合 [グループ/ユーザ管理] > [ユーザ管理] にて、対象のユーザ(PC) が所属するグループを選択し、[IP アドレスー覧]タブの「+IP アドレスを追加」にて「開始 IP アドレス」に PC の IP アドレスを入力して、[保 存]ボタンをクリックします。
 - ●Ver7.0 以前の場合 [グループ/ユーザ管理] にて、対象のユーザ(PC) が所属するグループを選択し、IP アドレス登録画面 にて、「IP アドレス(開始)」に PC の IP アドレスを入力し[登録]ボタンをクリックします。
- LDAP 連携によるアカウント認証のままですとリクエストに失敗しログが出力されません。一時的に特定の PC の IP アドレス を登録し、IP アドレス認証をおこなうことで、失敗していたリクエストが可能になります。ログ取得後は、登録した IP アドレスを削除してください。
 図 2-3 Ver8.0 以降の場合

ホーム グループ/ユーザ管理▼ :	共通アクセス管理 ▼ 個別アクセス管理 ▼ 規制	削解除申請管理 ▼ サーバ管理 ▼	設定情報管理▼ ログ管理▼	
ユーザ管理 🥝				
グループ ▶ アカウント ★ すべて閉く - すべて閉じる →ルートグループ -ADMIN -GROUP LDAP -test	を検索 アカウントー覧 1件もありません。		+ IPアドレスを追加	
IPアドレス登録 Q				
選択中のグループ test			Qグループ階層を表示	ŧ
			保存	
*開始IPアドレス				
終了IPアドレス * 単-アドレスの場合	合、入力は不要です。			
* IPv6アドレスは省略形式で登録されます。				

図 2-4 Ver7.0 以前の場合 システム管理 グループ/ユーザ管理 フィ グループ/ユーザ管理 アドレスー	ルタリング設定 アクセス管理 5			
グループ/ユーザ選択				ヘルプ
アカウント検索	■ IPアドレス登録		IPアドレスを登録します。	登録
• ADMIN	グループ tes	st		
• GROUP	IP アドレス(開始)			
• LDAP • test	IPアドレス(終了)	8	単一アドレスの場合、入力は不要です。	
IPアドレス かウント 道加				
IPアドレスは登録されていません。				

アクセスの実施

リクエストできないアプリケーションにて、ISWF 経由でのアクセスを行います。アクセス後、InterSafe_http.log のログに UA が出力されているか確認します。ログファイルは下記の場所にあります。

Windows版: <ISWFインストールフォルダ>¥log Linux、Solaris版: <ISWFインストールディレクトリ>/logs

例)Internet Explorer 7のUA

Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 5.1; .NET CLR2.0.50727)

http ログは下記のフォーマットにて出力されます。

●Ver8.0 以降(タブ区切り)

年月日 時刻 プロトコル クライアントアドレス グループ名 アカウント名 ブラウザバージョン 転送状態 WWW サ ーパIP 応答コード WWW サーバ名 転送時間 送信データサイズ 受信データサイズ ファイルタイプ コンテンツタイプ 判定理由 判定カテゴリ カテゴリ1 カテゴリ2 セキュリティカテゴリ リクエスト URL HTTPバージョン リクエストメ ソッド リンク元サイト

●Ver7.0 以前(カンマ区切り)

年月日,時刻,"プロトコル","リクエスト元 IP","グループ名","アカウント名","ブラウザバージョン","転送状態","WWW サーバ IP", 応答コード,"WWW サーバ名",転送時間,転送データサイズ,"ファイルタイプ","カテゴリ名","リクエスト URL","HTTP バージョン"," リクエストメソッド"

UAは "ブラウザバージョン"に表示されます。ホスト名は、WWW サーバ名、もしくはリクエスト URL にて確認できます。

2-2.UA、ホストをパケットキャプチャから確認する方法

前項で UA、あるいはホストが確認できない場合は、パケットキャプチャを取得して UA の確認を行います。Windows 版パケットキャプチャソフト「Wireshark」を利用してパケットキャプチャの取得、確認を行います。Linux 版、Solaris 版をご利用のお客様の場合は、以下のコマンドにてパケットキャプチャの取得し、Wireshark にて確認を行います。

Linux の場合: *tcpdump -x -s 3000 -w ファイル名* Solaris の場合: *snoop -o ファイル名*

図 2-5

UAは、パケットのHTTP ヘッダの一つ「User-Agent」にて確認することができます。 ホストは、HTTP ヘッダの「Host」などから確認できます。

● HTTPS の場合、User-Agent ヘッダは暗号化されているため確認ができません。下図では WireShark の 1.0.1 の画面を示しています。この例では、68 フレーム目のパケットに POST リクエストがあり、User-Agent にて"SLSSoapClient"が確認できます。"SLSSoapClient"は Vista の OS ライセンス認証時に使用される UA です。

vista_activate.p	cap – Wireshark	Caratization III-la				
Lue Fair Alem	Go Capture Analyze	<u>o</u> tatistics <u>H</u> elp				
	🕷 🖻 🛃 🗙		▶ � 7 ⊈ ■ ∎] 🎬 🗹 🍢 🎇 🕻	<u>ê</u>
Eilter: (ip.addr	eq 1	5 and ip.addr eq	💶 0 🔻 <u>E</u> xpression <u>C</u>	ilear <u>A</u> pply		
No Time		Source	Destination	Protoco	I Info	
61 2008-10- 62 2008-10-	15 13:53:51.5151	14		TCP	49247 > http-alt http-alt > 49247	[SYN]
63 2008-10-	15 13:53:51.515			TCP	49247 > http-alt	[ACK]
64 2008-10-	15 13:53:51.515	706		US HTTP	POST http://go.mi	icrosof
65 2008-10-	15 13:53:51.518:	305 IIIIII		TCP	LTCP segment of a	a reass
67 2008-10-	15 13:53:51.5180			ТСР	49247 > http-alt	TACK
68 2008-10-	15 13:53:51.5231	.09 1		E HTTP	POST http://go.mi	icrosof
69 2008-10-	15 13:53:51.5872	267		HTTP	HTTP/1.0 407 Pro>	cy Autł
73 2008-10-	15 13:53:51.6969	91	-	TCP	TCP segment of a	a reass
74 2008-10-	15 13 53 51 697	58 Ministration 1995	- Million Charles of Station	и нттр	HTTP/1 0 407 Prov	or Auth
						•
E Frame 68 (33	36 bytes on wire	, 336 bytes captu	red)			
Ethernet II,	, Src: Wistron_b	8:73:ca (00:16:d3	:b8:73:ca), Dst: Ci	sco_a3:fc:c2 (00	:17:59:a3:fc:c2)	
Internet Pro	otocol, Src: 🂵), Dst: 1	(1	5)	
Transmission	n Control Protoc	ol, Src Port: 492	47 (49247), Dst Por1	t: http-alt (808)	0), Seq: 179, Ack: 97	'3, Ler
Hypertext Tr	anster Protocol	(E. Jinh (D. Juhr				
H POST http:	://go.microsott.	COM/TWINNK//LINKI	a=5/201 HIIP/1.1\r\I	1		
Accept: te	≝xu/~\r\n t: sussoap⊂liont	\r\r				
Host: do m	nicrosoft com\r\					
Content-Le	enath: 0					
Proxv-Conr	nection: Keep-Al	ive\r\n				
1						Þ
020 04 05 55	: 77 6E 77 74 41	67 65 65 74 75 7		apet: CL	-	
090 53 53 6f	61 70 43 6C 69	65 6e 74 0d 0a 4	18 6f 73 550apCli	ent. Hos		-
0a0 74 3a 20) 67 6f 2e 6d 69	63 72 6f 73 6f (56 74 2e t: go.mi	crosoft.		
060 63 6† 60 060 67 74 69	1 Od Oa 43 6† 6e 2 2a 20 20 od Oa	74 65 6e 74 2d 4	lc 65 6e comCon 2d 42 6f ath:0	tent-Len		
0d0 6e 6e 65	i 63 74 69 6f 6e	3a 20 4b 65 65 3	70 2d 41 nnection	: Keep-A		
0e0 6c 69 76	65 Od Oa 50 72	6f 78 79 2d 41	75 74 68 livePr	oxy-Auth		
UTU 61 72 64	J /a bi /4 b9 bT	66 bytec)	4C 40 ZU 00173110	n: NIIM		
rame (330 bytes)	ALEMOOR / GOOMFI Dat					
IIIP User-Agent he	ader (http://ser_agent), 🚥	 Packets: 112 Displayer 	d: 14 Marked: U		Profile: Default	

2-3.notice.logから確認する方法

Ver8.5 SP1 以降では出力されるログに「InterSafe_notice.log」が追加されました。 上記ログは認証に失敗した際に出力されます。 出力されるログには以下の内容が含まれます。

- ・クライアント IP アドレス
- ・リクエストメソッド
- ・宛先ホスト
- User-Agent

ログ出力例

Failed to NTLM authenticate. (invalid NTLM parameter(2)) [client=192.168.1.1; method=GET; elapsedTime=25;Host=www.alsi.co.jp; User-Agent=alsitool;]

上記ログの場合、User-Agent が alsitool のアプリケーションから「www.alsi.co.jp」というホスト宛にリクエストを送信しましたが、アプリケーションが NTLM 認証に対応していないため、認証に失敗しています。

● notice.log は管理画面にログイン後、[ログ管理] > [システムログ] より確認できます。

本項では、認証除外の設定方法について説明します。

3-1.認証除外の設定

前項2でUAが確認できた場合は、「UAによる認証除外設定」をご確認ください。「UAによる認証除外設定」にて、回避できなかった場合、あるいは、UA自体が確認できない場合は、「ホストによる認証除外設定」をご確認ください。

UA による認証除外設定

■ Proxy.inf への追加

前項2で確認した UA を proxy.inf の"AUTHORIZED_USER_AGENT="に追加します。追加した UA からのリクエストは、自動的に ルートグループのユーザとして認証され、ルートグループにスケジュールされているフィルタリングルールが適用されます。既 存で UA が指定されていますので、末尾に追記します。追記する場合は、セパレータ文字のカンマ(,)を加えて UA を追記します。 Proxy.inf は以下の場所にあります。

Windows の場合 : *<ISWF インストールフォルダ>¥conf* Linux、Solaris の場合 : *<ISWF インストールディレクトリ>/conf*

例) "SLSSoapClient"を追加する場合

●追加前

AUTHORIZED_USER_AGENT=Windows-Update-Agent, Microsoft BITS, EndPointModule, Windows Installer, Microsoft-CryptoAPI, CATsecurity

●追加後

AUTHORIZED_USER_AGENT=Windows-Update-Agent, Microsoft BITS, EndPointModule, Windows Installer, Microsoft-CryptoAPI, CATsecurity, SLSSoapClient

セパレータ文字列は以下のパラメータで指定できます。 AUA_SEPARATOR=,

設定後、「3-2.認証除外の設定」の手順に従って、設定を反映させます。

アプリケーションによっては、UAにバージョン情報など可変する可能性のある文字列を含んでいるものもあります。可変する 可能性のある文字列を除いて登録いただくと効果的です。

例) Internet Explorer 7のUAの場合

Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 7.0; Windows NT 5.1; .NET CLR 1.1.4322; .NET CLR 2.0.50727; .NET CLR 3.0.04506.30; .NET CLR 3.0.4506.2152; .NET CLR 3.5.30729; MDDR; InfoPath.1; OfficeLiveConnector.1.3; OfficeLivePatch.0.0) 上記のようにバージョン情報など、可変する要素が含まれており、何らかのきっかけで UA が変わる可能性があるため、可変の

可能性が少ない、"MSIE 7" を AUTHORIZED_USER_AGENT に登録することで、より変化に対応しやすくなります。

- Ver5.0、Ver6.0 にて、メモ帳で proxy.inf を編集すると、制御コード(BOM)が付加され、設定が正しく読み込まれない場合 がございます。proxy.inf はメモ帳以外のテキストエディタで編集してください。
- 登録された UA は部分一致となります。「a」と登録した場合、「a」の文字を含む UA が認証除外の対象となります。
- ワイルドカード(*)などで正規表現を行うことはできません。
- 大文字小文字を判別します。

■ 管理画面から追加

Ver8.5 SP1 以降では管理画面より認証除外する UA を追加できます。

1) 管理画面にログイン後、[サーバ管理] > [認証設定] をクリックします。

図 3-1



「リクエスト別認証設定」の「User-Agent 認証」に認証除外する UA を追加します。
 図 3-2

▶ リクエスト別認証設定

User-Agent하고 I	Windows-Update-Agent Agent 目的 日本 Agent 日本 Agent 日本 Agent 日本 Agent 日本 Agent 日本 Agent認知は改作区切りで複数入力できます。
宛先ホスト認証	www.update.microsoft.com update.microsoft.com download.windowsupdate.com sls.update.microsoft.com
	※ 宛先ホスト認証は改行区切りで複数入力できます。 ※ ワイルドカードとして「*」が使用できます。「*」は「」を含む1文字以上の文字列として使用してください。

3) 追加後、画面右上の[保存]ボタンをクリックし、設定を反映させます。

ホストによる認証除外設定

■ Proxy.inf への追加

前項2で確認したホストを proxy.inf の"AUTHORIZED_HOST="に追加します。追加したホストへのリクエストは、自動的にルー トグループのユーザとして認証され、ルートグループにスケジュールされているフィルタリングルールが適用されます。既存で ホスト名が指定されていますので、末尾に追記します。追記する場合は、セパレータ文字のカンマ(,)を加えてホスト名を追記し ます。

例) "activation.sls.microsoft.com", "192.168.0.1"を追加する場合

●追加前

AUTHORIZED_HOST=www.update.microsoft.com

●追加後

AUTHORIZED_HOST=www.update.microsoft.com,activation.sls.microsoft.com, 192.168.0.1 または、Ver8.5 以降では以下でも指定できます。 AUTHORIZED_HOST=*microsoft.com, 192.168.0.1

セパレータ文字列は以下のパラメータで指定できます。 AH_SEPARATOR=,

設定後、「3-2.認証除外の設定」の手順に従って、設定を反映させます。

- Ver5.0、Ver6.0 にて、メモ帳で proxy.inf を編集すると、制御コード(BOM)が付加され、設定が正しく読み込まれない場合 がございます。proxy.inf はメモ帳以外のテキストエディタで編集してください。
- ホスト名は完全一致したものが有効になります。
- Ver8.5 以降ではワイルドカード(*)を利用できるようになりました。

- Ver8.0 以前ではワイルドカード(*)などで正規表現を行うことはできません。完全一致となります。
- Ver8.5 をご使用の場合 HTTPS サイトのホスト名を登録する場合、ポート番号は**付与せずに**登録してください。
- Ver8.0 をご使用の場合 HTTPS サイトのホスト名を登録する場合、ポート番号を付与して登録してください。
 例) www.alsi.co.jp:443

■ 管理画面から追加

Ver8.5 SP1 以降では管理画面より認証除外するホスト名を追加できます。

● 認証を除外するホスト名の追加手順は P.10「UA による認証除外設定」の「管理画面から追加」をご参照ください。

3-2.認証除外の設定反映

前項 3-1 での設定変更後、ISWF の設定読み込みコマンドを実行、もしくは、フィルタリングサービスの再起動を行ない、設定 を反映させます。

● Ver8.5 SP1 以降で管理画面より追加した場合は、設定を反映させる以下の手順は必要ありません。

設定読み込みコマンドの実行

ISWF サーバの CLI にて、以下のコマンドを実行します。

<インストールディレクトリ>/bin/amsdata -reload

● 実行に成功すると、"Processing was completed." のメッセージがプロンプトに表示されます。

コマンド実行後、現象が改善されているかご確認ください。

ISWF のフィルタリングサービス再起動

■Windows の場合

Windows 版でフィルタリングサービスを起動/停止するには、Windowsの[コントロールパネル]の[サービス]を使用します。次の手順でフィルタリングサービスの起動と停止をします。

1) サービスの起動と停止を実行可能なユーザアカウントで Windows にログインします。

2) [スタート] ボタン→ [設定] → [コントロールパネル] → [管理ツール] の順に選択し、[サービス] をダブルクリックします。

3)「InterSafeProxyControl」(フィルタリングサービス)を右クリックして [操作] メニューの [開始] または [停止] を実行します。

図 3-3

ぬ サービス						
ファイル(F) 操作(A)	ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)					
) 🗟 🛛 🖬 🔹 🖿 💷 🔹					
🔍 サービス (ローカル)	😋 サービス (ローカル)					
	InterSafeProxyControl	_名前 ▲	説明	状態	スタートアップの種类▲	
	サービスの停止 サービスの再起動		24		2 .	
		InterSafeAdminControl		開始	自動	
		InterSafeProxyControl		開始	自動	
		🎑 InterSafeWebService		開始	自動	
		<u>0</u>	100			
		<u>o</u>				
		<u></u>	100			
		۹.	10 A.		-	
		Î.				
	∖拡張√標準∕					

■Solaris/Linux の場合

Solaris 版と Linux 版の ISWF のフィルタリングサービスを起動 / 停止する場合は、ターミナルで、次のコマンドを実行します。

● 起動 / 停止は root ユーザで実行してください。

フィルタリングサービスの再起動

起動: < インストールディレクトリ>/bin/amsproxy start

停止: < インストールディレクトリ>/bin/amsproxy stop

再起動後、現象が改善されているかご確認ください。

4.その他の回避策

Internet Explorer のプロキシ例外設定による回避

前述の手順で正常にアクセスできない場合には、プロキシ例外に該当のサイトを指定することで正常にアクセスが出来る場合があります。Internet Explorer の場合、下記のように設定を行います。

1) Internet Explorer のアイコンを右クリックしてプロパティを開きます。





 2) 接続タブを開き、LAN の設定ボタンをクリックします。ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定ダイアログが開くので詳細 設定ボタンを開きます。下記の画面が表示されるので該当の URL、ドメイン名を例外フィールドに記述します。
 図 4-2

インターネット	のプロパティ		? ×
ローカル エリ	ア ネットワーク	(LAN) の設定	? X
フロキシの診	定		? ×
-サ-バ - - - - - - - - - - - - - - - - -	種類 HTTP(<u>H</u>): Secure(<u>S</u>): FTP(<u>F</u>): Gopher(<u>G</u>): Socks(<u>C</u>):	使用するプロキシのアドレス	ポート : 8080 : 8080 : 8080 : 8080 : 8080
- 例外	次で始まるアト	ローコルに向いてイン・シートーを使用しない(N): *レスにはプロキシを使用しない(N): :(使用してエントロを分けて(ださい)	
		OK	

フィルタリングバイパス設定による回避

Ver8.5 SP1 以降の Proxy 版ではフィルタリングバイパス機能が追加されました。フィルタリングバイパスに設定された UA やホ ストへのリクエストは ISWF のフィルタリング処理の対象外となり、認証処理などすべての処理が行われません。

● フィルタリングバイパス設定に一致したリクエストはアクセスログに出力されません。

1) 管理画面にログイン後、[サーバ管理] > [一般設定] をクリックします。

义	<u>4-3</u>						
7	ҟーム <i>グループ/</i> ユーザί	管理 🗸 🕴 共通アクセス管理 🗸	個別アクセス管理 👻	規制解除申請管理 🗸	サーバ管理 🔻	設定情報管理 👻	ログ管理 🗸
ホーム 2 使用したい機能を上部のメニューより選択してください。 サーバ設定							
					データベース	設定	
					認証設定		
	▶ログイン情報					設定	
	グループ	ADMIN			メール通知設	定	
	ユーザ	root			▶ 上位ブロキシ	設定	
	権限	システム管理者			一般設定		
	TIEPK	270748-28					

2) 「フィルタリングバイパス設定」の「User-Agent」「宛先ホスト」に認証除外する UA/ホスト名を追加します。 図 4-4

 フィルタリングバイバス設 	定
	以下のUser-Agentを含むリクエストの認証・フィルタリング処理をバイパスする。
User-Agent	
	※ User-Agenは改行区切りで複数指定できます。 ※ ワイルドカードとして「1」が使用できます。「*」は「Jを含むi文字以上の文字列として使用してください。
	以下のホスト名が一致する接続先へのリクエストの認証・フィルタリング処理をバイバスする。
宛先ホスト	
	※ ホスト名は改行区切りで複数指定できます。 ※ ワイルドカードとして「ゴが使用できます。「ゴ」は「Jを含む」文字以上の文字列として使用してください。

3) 追加後、画面右上の[保存]ボタンをクリックし、設定を反映させます。

5.確認済み UA 及びホスト

UA 一覧

以下の表は、弊社サポートにて確認した UA の一覧になります。詳細が不明なものやプログラムのバージョンにより UA が異な る場合もあります。設定の際にご参考ください。

No.	UA	プログラム・サービス名	備考	ISWF による 回避の可否
1	Acrobat	Acrobat 全般	Acrobat 全般	0
2	Solid Core	Adobe Flash Player イン ストール	UA による認証除外の設定のみでは回避不可。 Ver6.5より追加された「ホストによる認証除外 設定」と「UA による認証除外設定」を両方設定 することで回避可能。ホスト名一覧の No.4を 参照。	×
3	Adobe	Adobe 全般	Adobe 全般	0
4	Adobe Update Manager 6 Adobe Update Manager 5	Acrobat9 アップデータ Acrobat8 アップデータ	Acrobat アップデータ使用時。	0
5	GIZMO	Gizmo(インターネット 電話)	Gizmo(インターネット電話)	0
6	tenki.rx	Goo ツールバー	Goo ツールバー	0
7	goostkver.rx	Goo ツールバー	Goo ツールバー	0
8	CATsecurity	InterSafe CATS	InterSafe CATS	0
9	Java	Java プログラム	Java プログラム	0
10	Managed VirusScan	McAfee(アンチウィル ス)	McAfee(アンチウィルス)	0
11	VirusScan ASaP ConnectionCheck	McAfee(アンチウィル ス)	McAfee(アンチウィルス)	0
12	dpupdchk	Microsoft IntelliPoint	Microsoft IntelliPoint	0
13	Microsoft	Microsoft 全般	Microsoft 全般	0
14	MicrosoftOffice Microsoft Office ClipOrganizer VCSoapClient CLView	MicrosoftOffice 全般	Office2007 以降の各アプリケーションの下記 のような操作をすると認証 POPUP が表示される 場合があること確認しております。 ①テキストを選択した後、マウスを右クリッ クしてコンテキストメニューを表示した場合 ②セキュリティ センターの設定を開いた場 合 ③校閲を選択した場合 ④クリップアートで Web コレクションを検 素する場合など ⑤オンラインでテンプレートを表示する場 合 また、テンプレートが表示できない事象も確認 されております。	Ο
15	NOD32 Update	NOD32(アンチウィルス)	NOD32(アンチウィルス)	0

16	Office Source Engine	Office Update	Office Update	0
17	Oracle Proxy Enabled SSL Socket	Oracle Client	Oracle Client	0
18	Shockwave	Shockwave	ショックウェーブ、マルチメディアのデータを 再生するためのプラグイン	0
19	RwAAAAA	Symantec(アンチウィル ス)	UA は可変するため、注意が必要。	可変した場 合回避不可
20	SAAAAA	Symantec(アンチウィル ス)	UA は可変するため、注意が必要。	可変した場 合回避不可
21	LiveUpdate	Symantec ライブアップ デート	シマンテック (アンチウィルス) のアップデー ト用プログラム	0
22	LegitCheck	Windows Genuine Advantage	正規 Windows 推奨プログラム	0
23	MS Clearing House Default Agent	Windows Genuine Advantage	正規 Windows 推奨プログラム	0
24	Windows-Media-DRM	Windows Media Player	ウィンドウズメディアプレーヤ	0
25	Windows-Media-Player	Windows Media Player	ウィンドウズメディアプレーヤ	0
26	NSPlayer	Windows Media Player(NetShowクライ アント)	ウィンドウズメディアプレーヤ	0
27	SLSSoapClient	VistaOS Office2010	Vista の 0S ライセンス認証 Office2010 のアクティベーション	0
28	Windows-Update-Agent Microsoft BITS Microsoft WU Client Windows Update Microsoft-CryptoAPI Windows Installer MSDW VCSoapClient	Windows Update	Windows アップデート	0
29	CryptRetriveObjectByUrl	Windows Update(Win98+IE6)	Windows アップデート、Windows98と IE6 の組 み合わせ	0
30	Industry Update Control	Windows Update(WinXP+IE6)	Windows アップデート、WindowsXPと IE6 の組 み合わせ	0
31	Railupd	リアルプレイヤー	リアルプレイヤー	0
32	RealPlayer	リアルプレイヤー	リアルプレイヤー	0

33	e-Tax VersionUp Support Program	e-Tax	国税電子申告・納税システム(e-Tax)	0
			 ユーザ独自のインターネット接続の Web カメラ	
			用のプログラム。UA は「Streaming Sdk 1.0」、	
	o	ᄡᅳᇲᆕᅳᅝᅳᆝ	MJPEG モードのリクエストでは、UA が付加され	0
34	Streaming	特定のフロクラム	ないリクエストパターンが存在するので、全て	0
			のモードでリクエストを可能にするには IP ア	
			ドレス認証が必要になります。	
			ユーザ独自のプログラム	
			ActiveX コントロールがこの UA の GET を送信	
25		ᄡᆆᇲᆑᇊᄯᇊᆝ	する場合があるようです。特定のフロクラムで	0
35	contype	特定のフロクラム	はない可能性がめります。	0
			愛右 IRL:http://support_microsoft_com/kh/41656	
			9/ ia	
		ちゅう ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん ちゅうしん しんしゅう しんしゅ しんしゅ		
36	anatagovomi	特定のクロックム(のな	デスクトップツール(ガジェット)	0
				Ũ
37	SendHTTP	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
38	Client	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
39	fclock	特定のプログラム	データセキュリティ製品、詳細は不明。	0
40	Tcpwsd	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
41	Vegas	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
42	Win32	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
43	Clip0rganizer	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
44	IPC_Update	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
45	jupdate	特定のプログラム	ユーザ独自のプログラム、詳細は不明。	0
46	Lotus-Notes	Lotus-Notes	Notes ブラウザ	0
47	Windows Live Messenger	Windows Live Messenger	MSメッセンジャー	0
48	Windows MSN Messenger	Windows MSN Messenger	MS メッセンジャー	0
10	Mozilla/4.0 (Windows 2000	citibank (オンラインバ	+ビゲーションバーが表示されたい	0
	5.0) Java/1.6.0_03	ンク)		
		 ヤマト運輸送り状発行	NTLM だけではなくユーザ認証に対応していな	
50	iCATs SOAP	ソフト (B2)	いとのメーカ回答(IP アドレス認証なら可能)	×
51	i-CATs DownLoad	ヤマト運輸送り状発行	NTLM だけではなくユーザ認証に対応していな	×
		ソフト (BZ)	レとのメーカ回答(IP アドレス認証なら可能)	

52	-	ThinkVantage System Update	特定の UA を持たないため回避ができない。	×
53	-	iPass Connect CISCO	特定の UA を持たない。	×
54	-	google パック	特定の UA を持たない。	×
55	-	Mcafee Managed Total Protection	詳細不明。	×
56	-	Logitech Desktop Messenger	詳細不明。	×
57	-	JWNET	特定の UA を持たない 認証ポップアップに正しい ID、パスワードを入 力した場合は通る。	×
58	-	IT-Truck	「Biz/Browser」の UA を持っているが、 proxy. inf に登録しても回避が出来なかった。 原因は不明。	不明
59	-	i TERAN	特定の UA を持たないため回避ができない。	×
60	-	現場図書館 EX	特定の UA を持たない。	×
61	-	現場 Office	特定の UA を持たない。	×
62	urlgrabber/3.1.0	Quartus II	開発ソフトウエア	0
63	its-moNavi PC	its-mo Navi	地図ソフトウエア	0
64	ZION	its-mo Navi	地図ソフトウエア	0
65	_	LeySer Services	詳細不明。	×
66	-	FedEX Ship Manager	UA 確認不可。	×
67	-	MATLAB	UA 確認不可。	×
68	Smc	Symantec Endpoint Protection	ウイルス・セキュリティ対策ソフト	0
69	СНТТР	KASHU-USB メモリのセキ ュリティ	USB 暗号化ソフトライセンス登録時のリクエス ト時に認証失敗となるため UA 登録で回避。	0
70	_	弥生給与ソフト	ソフトアップデートのリクエストで認証失敗 となる。UA 確認不可のため、ホスト名による認 証除外で回避。	× ※ホスト名 一覧の No. 7 を参照

ホスト名一覧

以下の表は、弊社サポートにて確認したホスト名の一覧になります。詳細が不明なものやプログラムのバージョンによりホスト 名が異なる場合もあります。設定の際にご参考ください。

No.	ホスト名	プログラム・サービス名	備考	ISWF による回避 の可否
1	<pre>www.update.microsoft.com update.microsoft.com download.windowsupdate.co m v4.download.windowsupdate .com fe3.delivery.mp.microsoft .com</pre>	Windows Update	Windows Update 時のリクエスト先	0
2	activation.sls.microsoft. com	Office2010/2013	0ffice2010/2013のライセンス登録(アクテ ィベーション)時のリクエスト先	O ※UA 一覧の No.27 も必要。
3	office15client.microsoft. com	Office2013	Office2013によるテンプレート取得のため のバックグラウンドアクセス時のリクエス ト先	0
4	get.adobe.com platformdl.adobe.com fpdownload.adobe.com fpdownload.macromedia.com dlmping.adobe.com dlmping2.adobe.com	Adobe Flash Player	Adobe Flash Player インストール時の リクエスト先	0
5	activate.adobe.com	Adobe 社製品	Adobe 社製品のライセンス認証の際のリク エスト先	0
6	www.google.com	Google Adwords Editor	Adwords Editor ソフト起動時の認証	0
7	www.yayoi-kk.co.jp info.yayoi-kk.co.jp	弥生給与ソフト	ソフトアップデートのリクエスト先	0
8	www.jprom.co.jp	JP-NET	検索サーバへ接続する際のリクエスト先	0
9	ardownload.adobe.com	Adobe Reader	Adobe Reader インストール/アップデート 時のリクエスト先	0
10	odc.officeapps.live.com	Office2013	Office2013の起動時の送信されるリクエス ト先	0